

コマーシャルメッセージ

平成26年4月版

被災地の一日も早い復興を願いながら、できることを粛々に行なっていきたいと思えます。

平成25年1月から12月の新設住宅着工戸数は980,025戸で、前年比11.0%増となりました。

1月の住宅着工は、持ち家、貸家、分譲住宅ともに増加したため、全体で増加となりました。

1月の新設着工戸数は77,843戸で、前年同月比12.3%の増加になりました。

17か月連続の増加です。

季節調整済み年率換算値は987,000戸です。

持家は24,955戸で前年同月比5.9%増、17ヶ月連続の増加。

貸し家は29,953戸で21.5%増、11か月連続の増加。

分譲住宅は22,580戸で8.6%増、2か月連続の増加。

内、マンションは11,941戸、18.6%増で、4か月ぶりの増加。

一戸建て住宅は10,530戸で、0.3%減。17か月ぶりの減少です。

地域別戸数は、首都圏対前年同月比16.8%増、中部圏5.8%増、その他地域は9.9%増です。

近畿圏は、対前年同月比11.7%増です。

近畿の府県別対前年同月比は、滋賀6.1%増、京都78.0%増、大阪4.8%増、兵庫16.2%増、奈良36.2%減、和歌山17.2%増でした。

東京は対前年同月比40.9%増、愛知は1.7%増です。

環境対策の点からも、木材は循環型の再生可能な資源です。燃やされない限り、木材は二酸化炭素を体内に固定し続けます。新たに植樹することにより、若木のCO2吸収量は活発化します。木材を使うこと自体は、決して森林破壊にはなりません。

仮設材に使用される木材も、単なるゴミはならず、木材チップなどに再利用されています。

木材を多くご利用いただけることが、環境を良くすることをご理解いただけたら幸いです。

木材、合板ともに、依然として価格上昇局面が続いていますが、前月に比べて緩やかになってきています。ただし、品薄感は相変わらずです。



NO. 1 仮設材について

仮設材全般に依然として品薄です。
矢板の価格はさらに上昇し続けています。
横矢板既製品寸法の厚み27mm・30mm・35mmは在庫しています。
国産樹種で主に流通しているアイテムは落ち着きを取り戻しています。
ヌキ板、測量杭は、依然として供給面で余裕のある状態ではありません。
型枠用合板も引き続き流通在庫が少なく、価格も上昇傾向です。
 棧木は仮囲い用の仮設棧(棧木2等品)をご用意しています。
 リン木は桧・杉材や米椈材にてご用意(時期により在庫樹種は変わります)。
養生ベニヤ12mmをご用意しています(12mm x 900mm x 1,800mm)。
その他、養生ベニヤ用として、2.5mm・5.5mm・9mmの3尺x6尺を在庫しています。
両面フェースはラワンです。芯材はポプラです。
NONJAS品のため、住宅養生には適しません。厚みムラもあります。

NO. 2 米松梁材について

米材梁桁材は高値安定傾向です。



NO. 3 外国産構造材について

ホワイトウッド材は横ばい傾向です。流通在庫は少なくなっています。
ホワイトウッドEW材も同様です。
赤松材、米松材も横ばいです。
引き続き商社筋は輸入量を控えています、需要面から相場はどうか不確かです。

NO. 4 国産構造材について

品薄感は依然としてありますが、前月より改善の兆しがあります。
国産材を使用する意義は、国内山林の環境保護・国内林業の活性化・自給率UP・花粉症対策だと思えます。
そして、国産材の域に留まらず、兵庫県産材の動きのように、地域材を積極的に使っていこうという気運もあります。
知名度は低いですが、「大阪府内産材」にも同じ動きが官公庁関係を中心に出ています。
弊社は大阪府内産材を積極的にPRしています。
特に大阪府の特徴でもある桧材の流通を目指しています。
公共建築物等木材利用促進法の成立により、国産材は脚光を浴びています。

NO. 5 造作材 米椈無節・上小節材(粗木)について

別注品対応をしています。

NO. 6 無垢材について

建材造作材の一般住宅への定番化により、無垢材利用がかなり減っています。
樹種を問わず、原木・製材品化されたもの共に、入荷量が少なくなっています。

NO. 7 積層材について

積層材既製品(フリー板)の取り扱いアイテムを増やしています。

NO. 8 内外装下地材について(ベニヤ・ボード等)

合板はラワン・針葉樹ともに流通在庫が依然として少ない状況です。
引き続きラワン、針葉樹ともに合板関係は値上がりですが、上昇幅は緩やかになっています。

NO. 9 内装仕上げ材について(建材メーカー商品等)

パナソニックと特約代理店契約を結んでいます。
これまで以上に販売強化に努めています。

NO. 10 断熱材関係商品について

グラスウールはまだ、平常には戻っていません。
量的に少ないですが、韓国製が出回っています。



NO. 11 養生材について

養生材の販売強化に努めています。
円安基調で、輸入製品や輸入原料に依存する製品は値上がりしています。

NO. 12 接着剤について

今のところ、大きな状況の変化はありません。

NO. 13 金物・現場備品について

販売強化に努めています。
円安基調で、輸入製品や輸入原料に依存する製品は値上がりしています。



NO. 14 加工費について

加工に強い会社を目指しています。

NO. 15 各建材メーカー商品について

システムキッチン・ユニットバスなどの水回り設備機器商品の納期は、各メーカーともにまだ平常に戻っていません。

☆ 電材品も扱っています。

☆ 木材利用ポイント制度、延長されます。

9月30日まで制度が延長されました。
新たに、対象樹種に米国産米松材も含まれるようになりました。
新築やリフォームの時、木製品購入などで使えます。



☆ “たろうの店 きごころ” オープンしています。

地域密着サービスサロンです。
気軽に立ち寄っていただける雰囲気大切にしています。
テーマごとにサロンを開催中です。

5月25日(日)、「きごころサロンまつり」開催します。!

地産地消 - 地域材



大阪府内産を始め、京都府内産・市内産など地域材活用を推進しています。

国産材・地域材志向のお施主様のお役に立ちます。
地域と自社の活性化のために活動しています。

「おおさか木の家づくり隊」は、大阪の木を使った、良質な住まいづくりを目指しています。



優しさ — 福祉

健康グッズ・福祉用具・介護用品を販売しています。

福祉・介護リフォームや新築の時など、是非、ご提案させていただきます。
個人的にご購入検討の時なども、是非、お声がけください。
介護保険適用特定福祉用具販売事業者になりました。

介護保険適用事業所 たろうの店 きごころ

「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」事業所番号2772701435



安らぎ — 耐震

耐震診断・耐震相談など、お声がけください。

耐震リフォームの時など、ご相談ください。

木材業界と京都大学が編み出した耐震工法「壁柱」を推進しています。



思いやり — エコロジー

エコライフ・エコ商品のご提案をします。

エコリフォームの時など、ご相談ください。

エコライフのためのアドバイス、太陽光発電などのエコ商品を販売しています。

日本には日本の木を、大阪には大阪の木を、と願って、
優しさと安らぎと思いやりをテーマに
地域の福祉や環境に貢献できるような、
まじめな会社と言われたい。



ご用命よろしくお願い申し上げます。

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9

TEL 06-6552-0781

FAX 06-6552-0784

